

# 特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2022年の食用きのこ類の生産量は46万1,736t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は2万1,798t（対前年比109.4%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,882t（対前年比102.9%）となった。

## ○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計				きのこ類		きのこ類							
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ		
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	83,861	2,034	14,241	69,620	4,342	65,278	23,697	126,321	4,501	123,134	57,267	37,798	2,997	36

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

## ○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635

注:くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和4年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(概数値)』による。

## ○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m <sup>3</sup>	t	t	t	t	層積m <sup>3</sup>	t	t	t	t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,474	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	90,976	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190

注:1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。  
2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料:農林水産省「令和4年特用林産基礎資料」

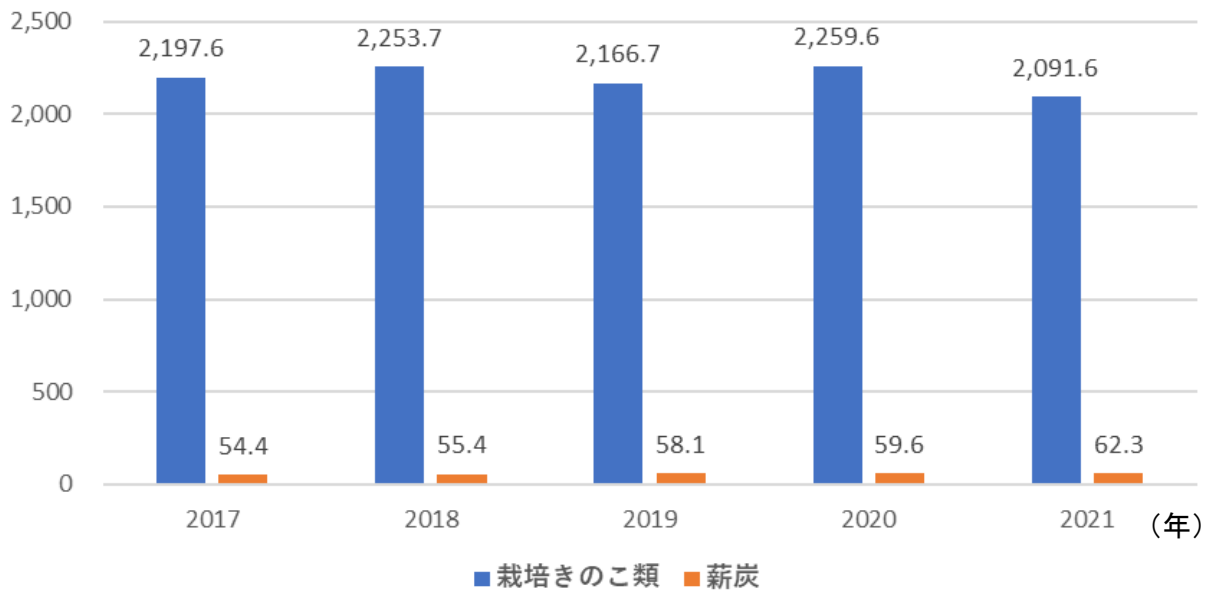
## 特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

（億円）

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6
薪炭	54.4	55.4	58.1	59.6	62.3

（億円）



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～10月の乾しいたけの輸出量は26トン、輸入量は3,582トン。
- 2023年1～10月の木炭の輸出量は228トン、輸入量は71,423トン。

品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-10月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	26	3,582
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	13	1,524
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	45	18,925
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	0	408	0	411
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	5,073
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	48,079
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	105,741
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	7	5
生うるし	kg	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	11,975
つばき油	kl	…	180	…	220	…	224	…	218	…	140
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	0	133
桐材	m <sup>3</sup>	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	8,253
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	78,838	228	71,423
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	1	9,819
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m <sup>3</sup>	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	435	6,874
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	38,214
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

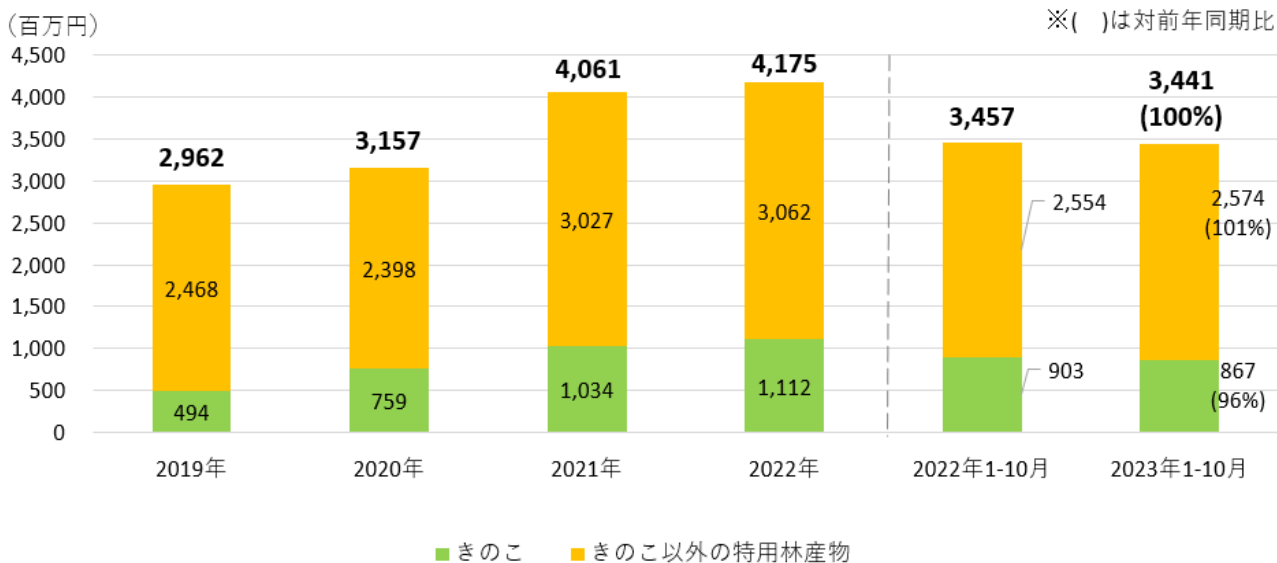
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

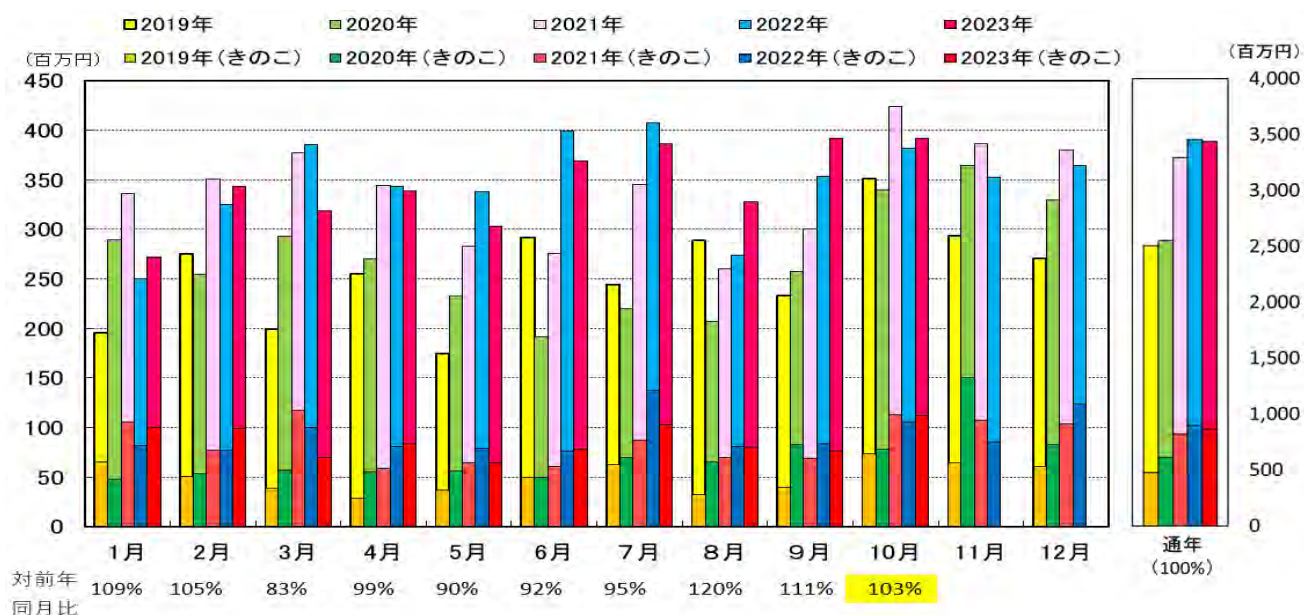
## 特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額①

- 2023年（1～10月）の特用林産物輸出額は3,441百万円（前年同期比100%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は867百万円（対前年同期比96%）、きのこ以外は2,574百万円（対前年同期比101%）となった。
- 10月の輸出額は、392百万円（対前年同月比103%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は112百万円（対前年同月比106%）、きのこ以外は280百万円（対前年同月比101%）となった。

### ○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



### ○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

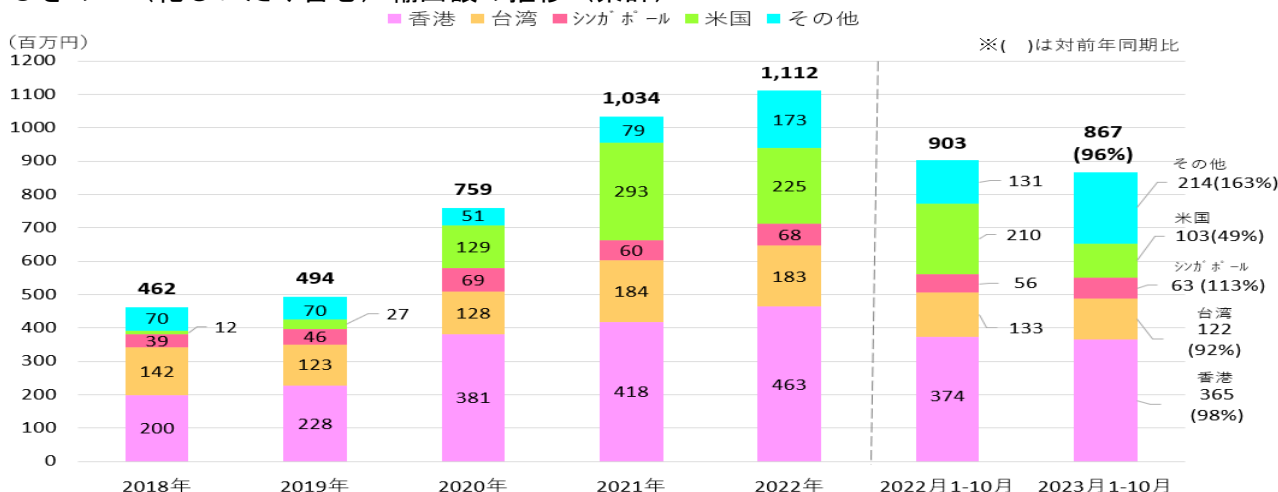
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

## 特用林産物の輸出額②

- 2023年（1～10月）のきのこの輸出額は867百万円で、対前年同期比96%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比98%、台湾が92%、シンガポールが113%、米国が49%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は1,236トンで、対前年同期比102%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比92%、台湾が84%、シンガポールが106%、米国が49%となっている。

### 〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



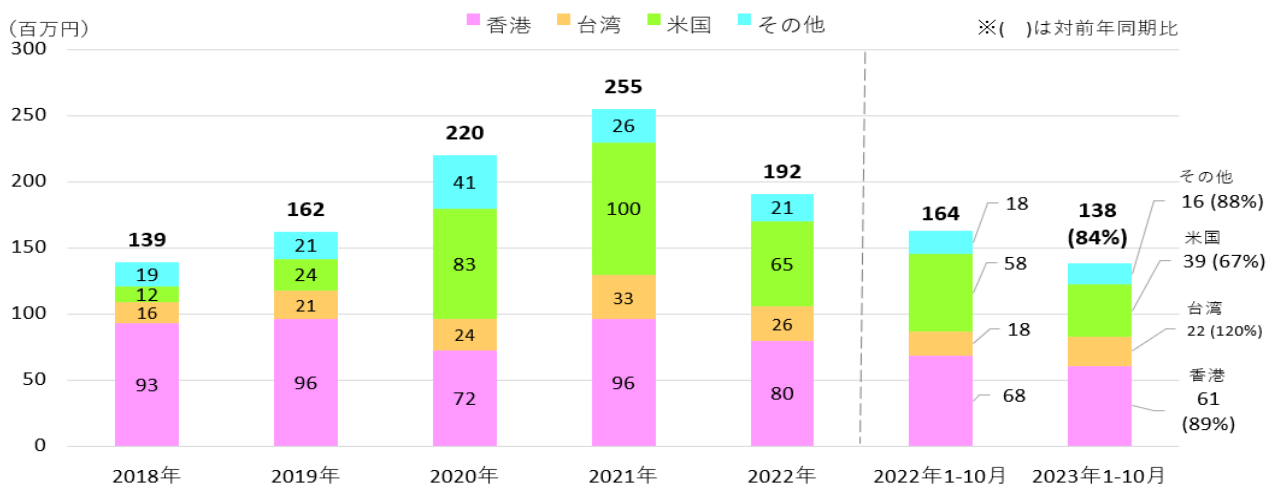
資料：財務省貿易統計

※( )は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～10月）の乾しいたけの輸出額は138百万円で、対前年同期比84%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比89%、台湾は120%、米国は67%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は26トンで、対前年同期比81%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比91%、台湾が112%、米国が71%となっている。

### 〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）



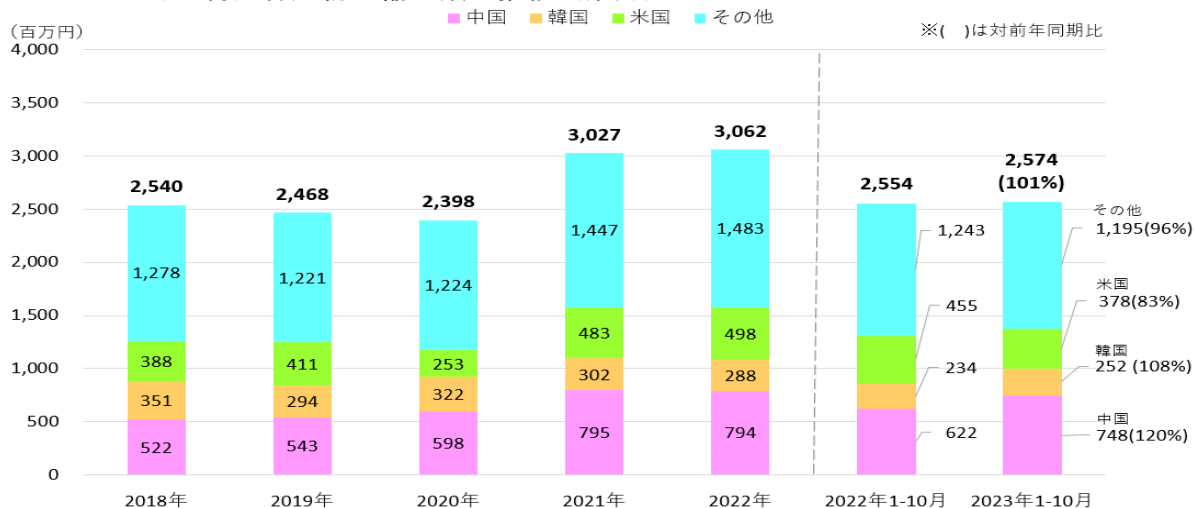
資料：財務省貿易統計

※( )は対前年同期比

## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～10月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は2,574百万円で、対前年同期比101%となっている。国別には、中国が対前年同期比120%、韓国が108%、米国が83%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比95%、植物性ろうが106%、テルペン油が124%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は1,961トンで、対前年同期比88%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比109%、韓国が116%、米国が68%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計  
※( )は対前年同期比

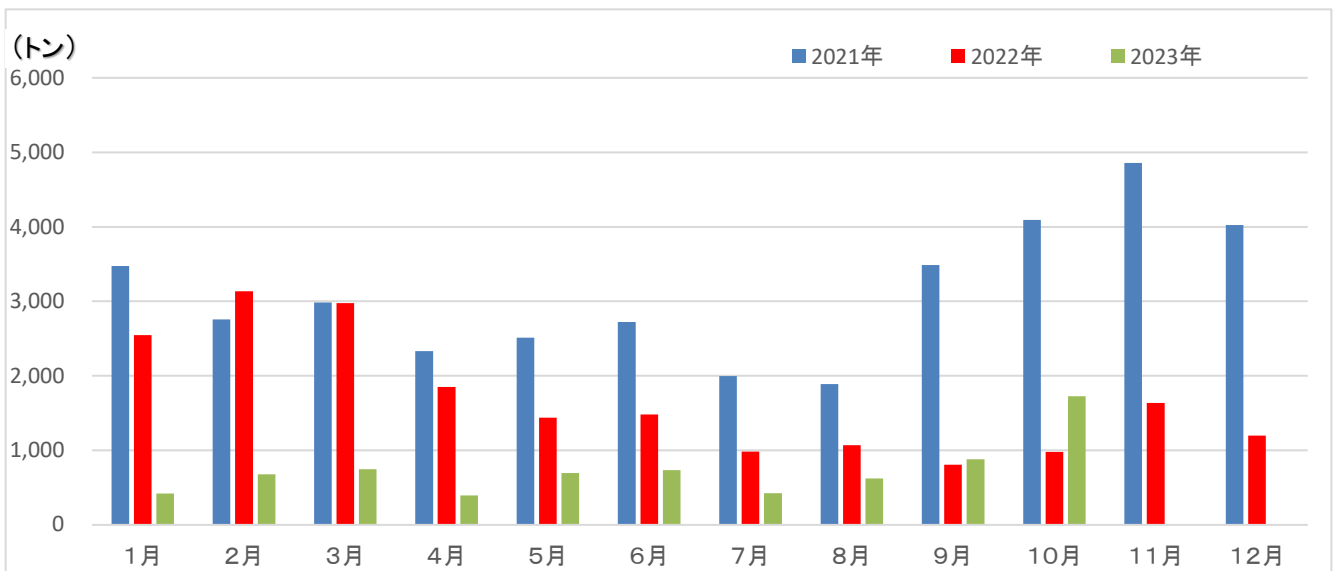
## 特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 本年10月の輸入量は1,726トンであり、対改正前直近年の同月比42.2%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726		



資料：財務省貿易統計

- 2023年11月のきのこの卸売数量は7,593トン（対前年同月比92.6%）となった。
- 2023年11月のきのこの卸売総額は4,241百万円（対前年同月比101.2%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,766	1,175	1,069	1,038	1,157	1,621	1,657
なめこ	16,889	16,285	16,865	484	470	466	455	511	525	523
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	3,762	1,938	1,866	2,085	2,848	3,586	3,426
しめじ	62,573	62,049	62,459	2,188	1,391	1,433	1,444	1,830	2,201	1,987
合計	226,240	225,649	226,202	8,200	4,974	4,834	5,022	6,346	7,933	7,593

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,748	1,069	970	993	1,204	1,737	1,708
なめこ	7,431	7,032	7,321	243	214	204	194	239	266	247
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	1,125	605	486	457	764	1,100	1,209
しめじ	28,688	25,099	25,300	1,075	623	556	539	859	1,137	1,078
合計	106,144	96,668	97,209	4,190	2,511	2,216	2,182	3,066	4,241	4,241

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	903	864	875	990	909	907	957	1,041	1,071	1,031
なめこ	440	432	434	502	455	438	425	468	507	472
えのきだけ	267	234	234	299	312	261	219	268	307	353
しめじ	458	404	405	491	448	388	373	469	517	542

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」



林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■12月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
森林の仕事 ガイダンス	●エリアガイダンス 山形県、茨城県、 新潟県、長野県、 鳥取県、高知県： R6年1月開催  愛媛県、大分県： R6年2月開催	詳細はHP参照	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象 に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 等 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.ringyou.net/guidance/">https://www.ringyou.net/guidance/</a>
～美しい地球は、 私達の心の ハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティ コンサート vol.86	12月20日（水）	セルリアン タワー 東急ホテル	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森 の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 詳細（チケット予約はこちらから）： <a href="https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/">https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/</a>
WOODコレクション （モクコレ）2024	1月11日（木） ～12日（金）	東京国際 展示場 「ビッグ サイト」西 1・2ホール	新たな木材需要を喚起し、木材利用の拡大を図ると ともに、森林の循環に寄与することを目的に、東京 の木、多摩産材をはじめとする日本各地の地域材を 活用した建材や家具などの木材製品の展示商談会で す。 主催：WOODコレクション実行委員会 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="https://mokuolle.com/jp">https://mokuolle.com/jp</a>
山村と企業を つなぐフォーラム	2月7日（水）	木材会館 （オンライン 併用）	企業による森林でのプログラム等の活用を促進する ため、「森林サービス産業」を展開する山村地域と そのプログラム等の活用に関心がある企業をつなぐ フォーラムを開催します。 主催：林野庁 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/231213.html">https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/231213.html</a>
建築・建材展2024	3月12日（火） ～3月15日（金）	東京国際 展示場 「ビッグ サイト」 東展示棟	安心・安全で快適な住環境、商環境の実現に不可欠 な各種建材及び関連設備機器などを一堂に集め展示 します。 主催：（株）日本経済新聞社 事前申込：不要 参加費：3,000円（ウェブサイトから事前登録した場 合は入場料無料） 詳細： <a href="https://messe.nikkei.co.jp/ac/">https://messe.nikkei.co.jp/ac/</a>

# お知らせ

## 10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！

森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁ではインボイスサイトを開設し、ポイントをわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。

また、相談窓口も開設しておりますので、ぜひご活用ください！



### インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、リーフレット消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。（免税事業者はインボイスの交付不可！）



### 納付する消費税額の計算方法

（※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要）

売上げに係る消費税額（売上税額）  $\text{マイナス}$  仕入れや経費に係る消費税額 = 納付する税額（納付税額）

仕入れに係る消費税額を差し引くこと = 仕入税額控除

仕入税額控除にはインボイスの保存が必要

インボイスがなければ仕入税額控除できない！※

※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています。

### 簡易課税制度を選択した場合の計算方法

納付する税額 =

売上げの消費税額  $\text{マイナス}$  仕入れや経費の消費税額

売上げの消費税額  $\times$  みなし仕入率

インボイスの保存不要！

売上税額がわかれば納付税額の計算が可能！

事務負担が軽減！

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

（注）簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要。

### インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等の記載した請求書。

（※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号）

- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージ。

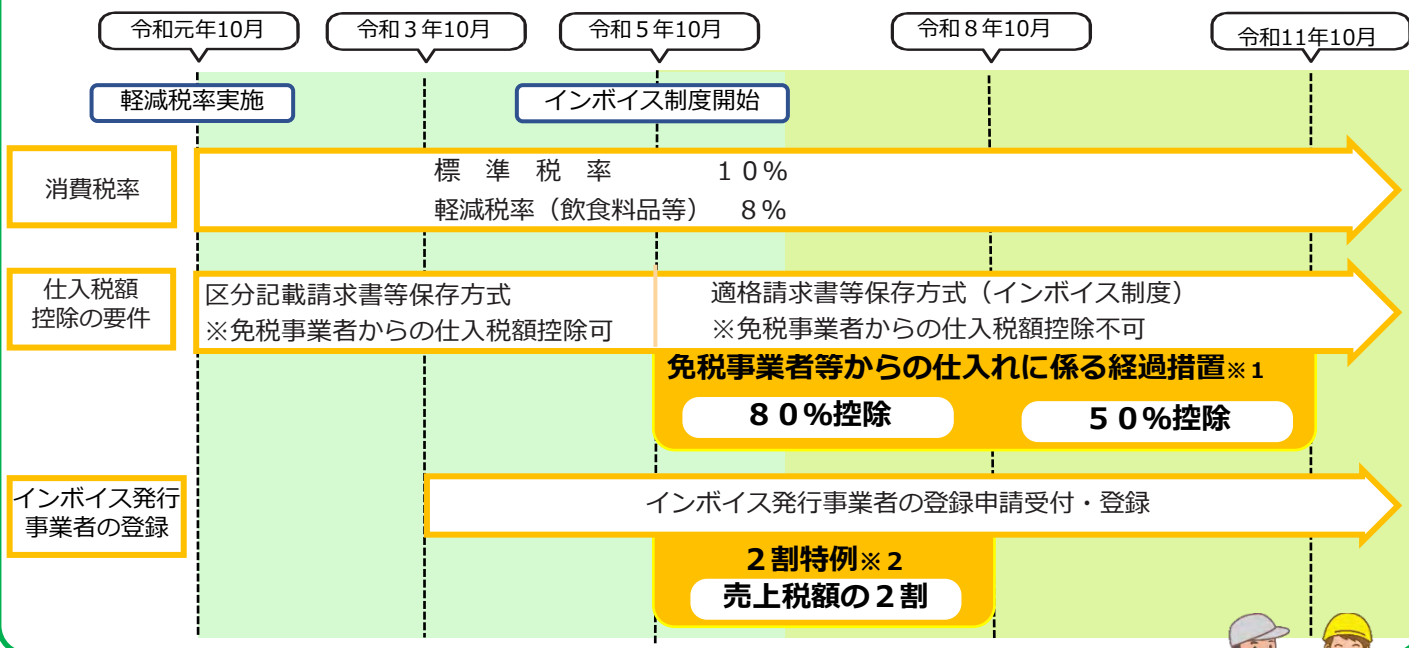
赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

### 【インボイスのイメージ】

請求書	
●●(株)御中	登録番号 ○○会社 (T1234...)
○年○月分	請求金額 115,400円
○月○日	丸太 110,000円
○月○日	乾しいたけ※ 5,400円
	合計 115,400円
適用税率	
10%対象	110,000円 内税 10,000円
8%対象	5,400円 内税 400円
※は軽減税率対象	
	消費税額等

## インボイス制度のスケジュール及び経過措置等

- 免税事業者については、令和5年10月1日から11年9月30日までの日の属する課税期間中に登録を受ける場合、**登録希望日（登録申請書提出から15日経過以後の日）からインボイス発行事業者となる経過措置**が設けられています。但し**登録通知が届くまで一定期間（e-Tax提出：約1ヶ月、書面提出：約1ヶ月半）を要する**ため、登録を受ける事をお決めの方は、**お早めの申請をおすすめします！**
- **制度開始後6年間（～令和11年9月30日）は、従来の区分記載請求書等に基づき、免税事業者等からの仕入れであっても一定の割合で仕入税額控除が出来る経過措置**が設けられています（※1）。
- **免税事業者からインボイス発行事業者となる場合には、納付税額を売上げの消費税額の2割とすることができる負担軽減措置（2割特例）**があります（※2）。



## 免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方



仕先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合は、上述の経過措置が設けられていることを考慮しつつ、**一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要があります。**

また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費税を負担しているため、**その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。**

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「**免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A**」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。

公正取引委員会  
インボイス制度  
関連コーナー



## 林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 **03-3502-8111**（内線**6064**）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス [syuhizei\\_rinya@maff.go.jp](mailto:syuhizei_rinya@maff.go.jp)

（インボイス制度の基本的な内容や、業界特有の対応に係るご質問から、地域等での説明会の開催に当たっての講師派遣、広報誌への寄稿等、お気軽にご相談ください！）

林野庁インボイスサイト [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syuhizei\\_invoice.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syuhizei_invoice.html)

林野庁  
インボイスサイト  
はこちら！



林業信用保証では

# 事業承継のための資金繰り

を支援します！

自社の株式や事業用資産を買い取るための資金、運転資金等の調達にご利用できます。

## 事業承継支援保証のポイント

- ① 最大で **5年間保証料が免除** することができます
- ② 実質 **無保証人** でご利用することができます
- ③ **人(経営)、資産** 及び **知的資産** の承継を伴うものが対象です

※保証については一定の審査があります。

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



## ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

### 【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



### 【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



2023年9月6日

## 木材業景況調査結果

第468回（令和5年8月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！  
全国モニターで調査する  
唯一の全国版景況調査  
この調査は日本木青連のご協力を得て、  
行っています

8月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも減少した。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。

9月は、販売量については、流通部門・製造部門とも増加の見通し、仕入量については、流通部門では増加の見通し、製造部門では変わらずの見通し、また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門では保ち合い、製造部門では弱含みの見通し、北洋材（欧州材を含む）・国産材については、流通部門・製造部門とも弱含みの見通し、また、建材は保ち合い予想である。今回は、建材を含め保ち合い予想が増えてきている。

プレカットの価格競争が激しく、本来であれば電気代、人件費、運賃などのコストがアップしているため加工賃を上げたいところだが、価格への転嫁は厳しい状況である。非住宅物件の引き合いは引き続き好調である。CLTや大断面集成材工場はフル稼働が続いており、新たな大型木造物件が積極的に受注しにくい状況となっている。

## 景況調査

令和5年8月分集計表 ( ) 内は実数

モニター数140 回答95 回収率68%

### 〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加 7% ( 7)	変わらず47% (44)	減少46% (43)
仕入量	増加 9% ( 8)	変わらず44% (41)	減少48% (45)
販売価格	上昇 1% ( 1)	変わらず83% (78)	下降16% (15)
仕入価格	上昇 5% ( 5)	変わらず80% (75)	下降15% (14)

来月の見通し

販売量	増加31% (29)	変わらず57% (54)	減少12% (11)
仕入量	増加26% (24)	変わらず61% (57)	減少14% (13)
販売価格	強含み 1% ( 1)	保ち合い88% (83)	弱含み11% (10)
仕入価格	強含み 6% ( 6)	保ち合い82% (77)	弱含み12% (11)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	10% ( 7)	72% (52)	18% (13)
南洋材	10% ( 6)	78% (46)	12% ( 7)
北洋材(欧州材を含む)	11% ( 7)	67% (42)	22% (14)
国産材	8% ( 7)	66% (57)	26% (22)
建 材	21% (14)	70% (47)	9% ( 6)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	44% (27)	52% (32)	5% ( 3)

### 〔製造部門〕

モニター数136 回答数94 回収率69%

当月の状況

販売量	増加14% (13)	変わらず55% (52)	減少31% (29)
仕入量	増加12% (11)	変わらず51% (48)	減少37% (35)
販売価格	上昇 2% ( 2)	変わらず79% (74)	下降19% (18)
仕入価格	上昇15% (14)	変わらず71% (67)	下降14% (13)

来月の見通し

販売量	増加32% (30)	変わらず54% (51)	減少14% (13)
仕入量	増加18% (17)	変わらず69% (65)	減少13% (12)
販売価格	強含み 4% ( 4)	保ち合い86% (81)	弱含み10% ( 9)
仕入価格	強含み12% (11)	保ち合い82% (77)	弱含み 6% ( 6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	12% ( 4)	55% (18)	33% (11)
南洋材	4% ( 1)	83% (19)	13% ( 3)
北洋材(欧州材を含む)	4% ( 1)	62% (16)	35% ( 9)
国産材	6% ( 5)	54% (47)	40% (35)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	48% (19)	43% (17)	10% ( 4)

2023年10月11日

## 木材業景況調査結果

第469回（令和5年9月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！  
全国モニターで調査する  
唯一の全国版景況調査  
この調査は日本木青連のご協力を得て、  
行っています

9月は、販売量については、流通部門・製造部門とも増加した。仕入量については、流通部門では増加、製造部門では変わらなかった。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。前月は販売量・仕入量とも減少だったが、今月は増加に転じたところが多かった。

10月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通しである。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。見通しについては、量・価格とも変わらずが多くなっている。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門・製造部門とも強含みの見通し、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では弱含み、製造部門では保ち合いの見通し、国産材については、流通部門では保ち合い、製造部門では弱含みの見通しである。また、建材は保ち合い予想である。

プレカット工場は、主要な取引先であるビルダーが販売に苦戦しているため、加工坪数もダウンが続いている。値下げ要求も強く、また、電気代・運賃・人件費等のコストアップ要因を多く抱えており、採算は非常に厳しい。一方、非住宅の引き合いは好調。中小規模の非住宅物件についても公共施設、保育所、介護施設と木造化が進んでいる。職人不足で工期遅れも心配されるが、引き続き好調な受注が期待できる。



## 景況調査

令和5年9月分集計表 ( ) 内は実数

モニター数140 回答88 回収率63%

### 〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加30% (26)	変わらず52% (46)	減少18% (16)
仕入量	増加32% (28)	変わらず48% (42)	減少20% (18)
販売価格	上昇 3% ( 3)	変わらず83% (73)	下降14% (12)
仕入価格	上昇 3% ( 3)	変わらず81% (71)	下降16% (14)

来月の見通し

販売量	増加28% (25)	変わらず52% (46)	減少19% (17)
仕入量	増加24% (21)	変わらず57% (50)	減少19% (17)
販売価格	強含み 5% ( 4)	保ち合い89% (78)	弱含み 7% ( 6)
仕入価格	強含み 8% ( 7)	保ち合い86% (76)	弱含み 6% ( 5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	26% (17)	61% (40)	14% ( 9)
南洋材	11% ( 6)	76% (41)	13% ( 7)
北洋材(欧州材を含む)	7% ( 4)	68% (38)	25% (14)
国産材	9% ( 7)	74% (59)	18% (14)
建 材	15% ( 9)	75% (45)	10% ( 6)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	36% (21)	60% (35)	3% ( 2)

### 〔製造部門〕

モニター数136 回答数92 回収率68%

当月の状況

販売量	増加30% (28)	変わらず52% (48)	減少17% (16)
仕入量	増加15% (14)	変わらず61% (56)	減少24% (22)
販売価格	上昇 5% ( 5)	変わらず75% (69)	下降20% (18)
仕入価格	上昇16% (15)	変わらず75% (69)	下降 9% ( 8)

来月の見通し

販売量	増加26% (24)	変わらず61% (56)	減少13% (12)
仕入量	増加21% (19)	変わらず67% (62)	減少12% (11)
販売価格	強含み 8% ( 7)	保ち合い80% (74)	弱含み12% (11)
仕入価格	強含み20% (18)	保ち合い74% (68)	弱含み 7% ( 6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	30% (10)	61% (20)	9% ( 3)
南洋材	14% ( 3)	73% (16)	14% ( 3)
北洋材(欧州材を含む)	10% ( 3)	76% (22)	14% ( 4)
国産材	11% ( 9)	61% (52)	28% (24)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	41% (15)	57% (21)	3% ( 1)

2023年11月13日

## 木材業景況調査結果

第470回（令和5年10月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！  
全国モニターで調査する  
唯一の全国版景況調査  
この調査は日本木青連のご協力を得て、  
行っています

10月は、販売量、仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加した。販売価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかったが、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

11月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門では減少、製造部門では増加の見通しである。また、販売価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門・製造部門とも強含みの見通し、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含みの見通し、国産材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。また、建材も保ち合い予想である。

大手ハウスメーカーからプレカット工場への受注は、年内は受注残があるため好調だが、新規受注に陰りも見えてきた。一方、ビルダーからの受注は低調な状況が続いている。大手プレカット工場間でビルダーに対する受注競争が激しく、値下げ競争となっている。戸建て住宅の需要が厳しい中、非住宅物件の受注にプレカット各社も力を入れている。非住宅物件の案件は多いが、それに対応できる人材確保と設備投資が必要となっている。

## 景況調査

令和5年10月分集計表 ( ) 内は実数

モニター数140 回答93 回収率66%

### 〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加26%(24)	変わらず50%(46)	減少24%(22)
仕入量	増加26%(24)	変わらず48%(44)	減少26%(24)
販売価格	上昇8%(7)	変わらず82%(75)	下降11%(10)
仕入価格	上昇13%(12)	変わらず76%(70)	下降11%(10)

来月の見通し

販売量	増加16%(15)	変わらず67%(62)	減少16%(15)
仕入量	増加12%(11)	変わらず66%(61)	減少22%(20)
販売価格	強含み18%(17)	保ち合い77%(71)	弱含み4%(4)
仕入価格	強含み20%(18)	保ち合い77%(71)	弱含み3%(3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	47%(32)	38%(26)	15%(10)
南洋材	11%(6)	84%(48)	5%(3)
北洋材(欧州材を含む)	13%(8)	70%(43)	16%(10)
国産材	16%(13)	71%(58)	13%(11)
建材	19%(12)	76%(48)	5%(3)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	36%(21)	59%(34)	5%(3)

### 〔製造部門〕

モニター数136 回答数99 回収率73%

当月の状況

販売量	増加32%(31)	変わらず55%(54)	減少13%(13)
仕入量	増加27%(26)	変わらず60%(59)	減少13%(13)
販売価格	上昇11%(11)	変わらず77%(75)	下降12%(12)
仕入価格	上昇28%(27)	変わらず67%(66)	下降5%(5)

来月の見通し

販売量	増加26%(25)	変わらず66%(65)	減少8%(8)
仕入量	増加28%(27)	変わらず62%(61)	減少10%(10)
販売価格	強含み17%(17)	保ち合い78%(76)	弱含み5%(5)
仕入価格	強含み32%(31)	保ち合い64%(63)	弱含み4%(4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	53%(17)	38%(12)	9%(3)
南洋材	9%(2)	83%(19)	9%(2)
北洋材(欧州材を含む)	37%(11)	57%(17)	7%(2)
国産材	24%(22)	54%(49)	21%(19)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	40%(16)	48%(19)	13%(5)

2023年12月7日

## 木材業景況調査結果

第471回（令和5年11月分）

迅速！簡潔！明快！  
全国モニターで調査する  
唯一の全国版景況調査  
この調査は日本木青連のご協力を得て、  
行っています

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

11月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。販売価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかったが、仕入価格については、流通部門では上昇、製造部門では変わらなかった。

12月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通し、仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では減少の見通しである。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門・製造部門とも強含みの見通し、北洋材（欧州材を含む）・国産材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。また、建材も保ち合い予想である。

住宅着工数は、引き続き持ち家・分譲一戸建てをはじめ厳しい状況となっている。大手ハウスメーカーからの新規受注に陰りがあり、年明けからの減少が予想される。また、輸入木材価格が上昇している中、プレカット工場間では価格競争となっていて、プレカット工場の採算は非常に厳しくなっている。一方、非住宅物件は引き続き好調で、工場稼働率維持のため各プレカット工場は非住宅分野の営業を強化している。

## 景況調査

令和5年11月分集計表 ( ) 内は実数

モニター数140 回答91 回収率65%

### 〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加19% (17)	変わらず54% (49)	減少27% (24)
仕入量	増加20% (18)	変わらず54% (49)	減少26% (23)
販売価格	上昇16% (14)	変わらず82% (74)	下降 2% ( 2)
仕入価格	上昇26% (23)	変わらず68% (61)	下降 7% ( 6)

来月の見通し

販売量	増加17% (15)	変わらず61% (65)	減少22% (20)
仕入量	増加18% (16)	変わらず62% (56)	減少20% (18)
販売価格	強含み12% (11)	保ち合い86% (77)	弱含み 2% ( 2)
仕入価格	強含み18% (16)	保ち合い80% (72)	弱含み 2% ( 2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	38% (25)	53% (35)	9% ( 6)
南洋材	11% ( 6)	80% (43)	9% ( 5)
北洋材(欧州材を含む)	19% (11)	68% (39)	12% ( 7)
国産材	16% (13)	75% (60)	9% ( 7)
建 材	16% (10)	76% (48)	8% ( 5)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	44% (27)	52% (32)	5% ( 3)

### 〔製造部門〕

モニター数135 回答数91 回収率67%

当月の状況

販売量	増加22% (20)	変わらず58% (52)	減少20% (18)
仕入量	増加19% (17)	変わらず62% (56)	減少19% (17)
販売価格	上昇14% (13)	変わらず80% (72)	下降 6% ( 5)
仕入価格	上昇24% (22)	変わらず73% (66)	下降 2% ( 2)

来月の見通し

販売量	増加14% (13)	変わらず64% (58)	減少21% (19)
仕入量	増加13% (12)	変わらず62% (56)	減少24% (22)
販売価格	強含み 8% ( 7)	保ち合い88% (79)	弱含み 4% ( 4)
仕入価格	強含み14% (13)	保ち合い84% (76)	弱含み 1% ( 1)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	46% (16)	37% (13)	17% ( 6)
南洋材	9% ( 2)	73% (16)	18% ( 4)
北洋材(欧州材を含む)	19% ( 5)	70% (19)	11% ( 3)
国産材	19% (16)	58% (49)	24% (20)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	38% (14)	56% (22)	8% ( 3)